



2023年度 事業報告及び収支決算

機動隊員等を励ます会

2024年6月5日

01.事業報告

02.事業概要

03.収支決算

04.正味財産増減計算書

05.貸借対照表

01事業報告

2023年度の日本経済はコロナ禍を乗り越え、緩やかな回復基調を取り戻し、企業の業況や収益の改善が続いているものの、これが賃金や投資に十分に回らず、内需は力強さを欠いている。

日本社会は5月に新型コロナの感染法上の位置づけが5類に移行したことから、ウイズコロナに向けた取り組みが加速し、徐々に日常を取り戻すことができた1年であった。警備部門の警備事案や諸行事もほぼ本来の状態に戻っており、G7サミット（主要国首脳会議）及びその閣僚会合等の警備事案も滞りなく完遂された。日々行われている重要設備や行事の警備などにおいても一人ひとりがしっかりと責務を果たし、総合力を発揮された。さらに警視庁は今年1月に創立150周年を迎えた。これまで連綿と築いてこられた歴史と伝統、語りつくせない努力に敬意を表する。

当会は、コロナ禍により中止してきた本部・支部の交流激励会、全国優秀機動隊員研修などの主要行事を実施すべく準備してきたが、本部、北海道支部及び九州支部の激励会は実施できたものの、1月に発生した能登半島地震への対応のため、そのほかの6支部の激励会と全国優秀機動隊員研修は残念ながら中止せざるを得なかった。

また、当会は今年3月に創立50周年を迎えた。これまでの会員ならびに機動隊をはじめとする警察関係の皆様のご支援、ご協力に対し、心より感謝申し上げますとともに、一層のご支援、ご協力を賜るようお願い申し上げます。

02事業概要

1. 大規模警備支援

- ① 特別大規模警備支援（広島県警察本部より当会に感謝状が授与された。）
G7サミット（主要国首脳会議）及びその閣僚会合の警備に対する支援
- ② その他の大規模支援
広島平和記念式典、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典、尖閣周辺をはじめとする
国境警備、能登半島地震に対する警備支援

2. 文化体育活動

- ① 全国優秀機動隊員研修支援は能登半島地震対応により中止
- ② その他の激励支援
機動隊観閲式、特科車両隊新庁舎落成式、警視庁機動隊新隊員合同訓練、全国警察
空手道選手権大会、警視庁機動隊対抗レスキュー競技大会、警視庁災害警備総合
訓練、年頭部隊出動訓練、警備部武道始式、広域緊急援助隊合同訓練
新潟県警察視閲式、関東管区機動隊殉職者慰霊式・訓練、北海道警察機動隊フェア

3. 会員と機動隊員との交流激励会

本部、北海道支部及び九州支部は実施したものの、能登地震対応のため東北支部、北陸支部、千葉支部、名古屋支部、大阪支部、中国四国支部の激励会は中止

4. 朝食講演会 例年通り10回／年実施、会員限定のYouTubeによる動画配信

5. 普及・啓蒙活動 機関紙「はげまし」発行、ホームページ更新、カレンダーの発行

03収支決算

2023年度の決算は、経常収益46,994千円に対して、経常費用41,010千円となり、当期経常増減額は5,983千円の黒字となった。これは、G7サミットに伴い昨年度同様特別大規模警備支援費の支出があったものの、能登地震対応のため6支部の交流激励会や全国優秀機動隊員研修等多くの活動が引き続き中止を余儀なくされたこと等によるものである。

- ・ 経常収益については、受取年会費が法人会員の拡大に伴い315千円増加した。また、朝食講演会参加料の改訂により1,085千円の増収、激励会参加料は本部、北海道・九州支部の激励会実施により3,078千円の増収、賛助広告費や寄付金の増額により2,060千円の増収となったことなどから、総計は対前年度6,602千円増の46,994千円となった。
- ・ 経常費用については、能登半島地震に対する警備支援を行ったことから大規模警備支援費が1,186千円増加した。また、文化体育活動援助費は全国優秀機動隊員研修の中止に伴う会場等のキャンセル等により1,278千円増加した。さらに本部、北海道・九州支部の激励会実施等により激励会費は8,310千円増加したことに加え、朝食講演会の費用増等により会議費が1,224千円増加したことなどから、総計は対前年度11,718千円増の41,010千円となった。
- ・ この結果、当期経常増減額は5,983千円の黒字（対前年度5,115千円減）となった。

04 正味財産増減計算書

2023.4.1～2024.3.31 (単位：千円)

科 目	2023年度	2022年度	増減
受取会費	31,685	31,370	315
講演会料	4,280	3,195	1,085
激励会参加料	3,078	0	3,078
賛助広告料	5,820	5,560	260
一般寄付金	1,900	100	1,800
雑収益	230	166	64
経常収益計	46,994	40,391	6,602
警備支援・文体活動援助費用	5,578	2,934	2,643
交流激励会活動費	8,310	0	8,310
機関紙・カレンダー発行費	7,010	6,911	99
会議費	5,739	4,514	1,224
労務費・経費	11,380	12,034	-655
賃借料	2,397	2,246	150
その他	594	650	-56
経常費用計	41,010	29,292	11,718
当期経常増減額	5,983	11,099	-5,116
当期一般正味財産増減額	5,983	11,099	-5,116
正味財産期末残高	111,353	105,370	5,983

05貸借対照表

2024.3.31現在（単位：千円）

		2023年度	2022年度	増減
	流動資産	77,278	71,743	5,534
	固定資産	60,480	60,480	0
資産の部（資産合計）		137,758	132,223	5,534
	流動負債	24,154	24,602	-449
	固定負債	2,250	2,250	0
負債の部（負債合計）		26,404	26,852	-449
正味財産の部（正味財産合計）		111,353	105,370	5,983
負債及び正味財産合計		137,758	132,223	5,534